

タイ OTOP : 気に入りの高級な手工芸品

OTOP とは「One Tambon One Product」の略で、タイにおける一村一品運動です。このプロジェクトは、タイの村で代々受け継がれてきた職人の技を現代に受け継ぎ、そうした伝統の技術を活かした製品を広く内外に普及させることを目的として、2001年に政府の主導でスタートしました。プロジェクトの一番の目的は、OTOP 商品を国内外で販売して得られる収益により村人達の収入を安定させることにあります。手工芸品そのものが本来持つ魅力に加えて、品質やデザインにも優れた OTOP 商品は、人々に大変喜ばれています。

大分から OTOP へ

タイのタクシン・シナワット首相は、かつて日本を公式訪問した際、大分県で地元特産品の生産現場を視察し、深い感銘を受けました。タクシン首相は帰国後、「One Tambon One Product (一村一品)」と銘打ったプロジェクトに着手しました。こうして一村一品方式は、タイの国民や国際的なコミュニティにも高い評判をもって受け入れられたのです。



こうしたノウハウや地域に育まれた智慧の交換は、決して今に始まったものではありません。タイと日本の両国間ではそうした交流が古くから継続的に行われてきたのです。日本の有名な地酒である泡盛や、美しい手染めの織物である紅型も、およそ600年ほど前のアユタヤ王朝時代のタイの特産品にそのルーツを辿ることができます。大分で受けた感動が OTOP の大成功につながったように、タイと日本の両国間の強い絆は、これからも長い歳月にわたって深められていくことでしょう。

タイパビリオンではこのほど、OTOP 製品の販売をスタートしました。ベンジャロン焼きの陶器、手織物、竹のバッグ、タイの各地方の特産品や、タイ館のお土産品など、さまざまな商品が並べられています。



ぜひ OTOP ゾーンに来てお買い物を楽しんでください！

2005年8月12日にはタイ館、イベントスペース、EXPO ホールの3会場で、タイ王国ナショナルデーが開催されます。請うご期待！
詳しい情報はこちらから www.expo2005thailand.com